



支部長あいさつ



片岡嘉幸氏 (大25)

このたびの石川県能登地方を震源とする大規模な地震により、被害に遭われた皆様により、被災に遭われた皆様により、被災に遭われた皆様により...

ある講演があり、その後の懇親会で参加者241名が肩を組んで高商校歌を歌って、100周年を祝いました。記念募金は目標2億円を上回る事ができ、あらためて会員の母校愛を感じております。3万円以上募金していただいた方に、まもなく「百年史」が届く予定ですが、その他の方にも陵水会ホームページでご覧いただける手筈です。

Table with 2 columns: Item and Time. Includes '2023年度 陵水会名古屋支部総会' and '2024年6月24日(土)'.



まずは「物故者への黙祷」が捧げられ、「支部長挨拶」に続き、滋賀大学学長・竹村彰通氏より「学長挨拶」として母校最新情報語られました。

講師の澤田太郎(大31)氏は、名古屋とのゆかりに焦点を当てながら歴史を振り返ったあと、大丸松坂屋の未来像として、現況からご説明いただきました。

○書籍紹介
著者の高樋進午(大23)氏より、今年の初めに上梓された書籍を自己紹介。抽選で20冊献呈いただきました。

○懇親会
定刻となり、懇親会開会の言葉が発せられるとまず最初に、陵水会・山田督理事長(大19)より来賓挨拶をいただきました。

2023年度の名古屋支部総会は、6月24日(土) 11時半より開催されました。会場はホテルプラヤマ山B1Fの「弥生の間」、参加者は115名でした。

総会司会より開会宣言されると、塚本浩三幹事長(大30)の議事進行で「陵水会名古屋支部総会」が始まりました。

幹事長より閉会の言葉が発せられ支部総会が終了すると、次は講演会。総会司会より講師が紹介され、約40分に渡る講演会が始まりました。

この分野をまず明確にして、業界内でのシェアを拡大すると同時に、伝統と信用を最大限に活用した新たな分野でのビジネスを展開することで、企業として独自の成長路線を切り開きたい。

発行所
陵水会名古屋支部
〒467-0043
愛知県名古屋市中
瑞穂区岳見町1-13
税理士法人表野会計
(表野宏和方)
TEL 052-832-2049
発行責任者 片岡嘉幸(大25)
印刷所 (株)山菊
☎052-731-1525(代)

2023年度
名古屋支部総会開催
2023年6月24日(土)

月3日、大津・琵琶湖漕艇場にて開催された「朝日レガッタ」において、DS学部3回生西村菜々花が女子シングルスカルの競技部門で優勝したこと。二つ目は、大学設立とほぼ同時に漕艇部がスタートしたので、来年2024年に創部100周年を迎えることを述べられました。

○Next Ryouji 紹介

次代を担うNext Ryoujiについて、土屋貴巨(大54)氏より説明と紹介がありました。

「Next Ryouji」は陵水会が運営していて、大学からも公認サークルと認定されていて、主な活動はインタビューなどを、YouTubeなどの公式な場所へアップして皆さんの活躍を紹介する取り組みであること等々を紹介。本日参加している現役学生5名には登壇して自己紹介いただきました。

「100周年企画クイズ」

進行が、クイズ担当の山崎博己(大35)氏に交代されると、彦根高商100周年企画が始まり、4問のクイズが出题されました。クイズ作成は昨年続き、今井綾乃(院41・大58)さん。全問正解は5テーブルで、(株)ヤマ伍三矢商店「三矢誠(大

25)様よりご提供いただいた景品が贈られました。

【閉会】

「そろそろ懇親会終了の時間となりました」と告げられ、会場に着席が促されました。

まずは、荒木俊雄副支部長(大29)より閉会の挨拶。来場の皆様、来賓の皆様への御礼を述べられたあと、今年彦根高商創立100周年の記念すべき年だが、諸手を挙げて喜べる状況ではない。彦根卒業生の強い絆という良き伝統が、少しだけ崩れつつあるのではないかと、コロナ禍の影響を2つ挙げられました。名古屋支部では現役学生の皆さんと一緒に、強い絆という良き伝統を守り、3年後の2026年5月29日に名古屋支部設立100周年を迎えた



い。今後の支部活動にもぜひご協力いただき、来年の支部総会にもぜひご参加ください。と結ばれました。

それから本場の最後として、35・36回生が壇上に並んで引き継ぎの挨拶。代表して三村祥章(大35)氏と永井尚徳(大36)氏が述べられ、総合同会より閉会が宣言されました。

35回生の皆さん、一年間お疲れ様でした。総合同会の三輪孝秀(大35)氏、お疲れ様でした。

次の全文は、名古屋支部ホームページからご覧ください。「名古屋支部総会まとめ記事」全文、「支部長挨拶」全文、「学長挨拶」要旨全文、講演会「松坂屋の未来像」全文、「理事長挨拶」要旨全文、「彦根高商100周年企画クイズ」全文

総会まとめ 園横井隆幸(大33) 【総会を終えて】

2023年度名古屋支部総会には、ご来賓を含め115名の方々のご参加をいただきました。35回幹事を代表し皆様のご参加、ご協力に感謝申し上げます。ありがとうございます。

総会を終えてあらためて感じる事は、コロナ禍に終始振り回された1年であった。この一言

でしょうか。過去3年間、総会では開催中止や縮小しての開催を余儀なくされました。苦渋の決断をされた先輩幹事の方々の想いは、さぞ辛かったであろうとお察しすると同時に、35回幹事としては飲酒有り開催を復活させたいとの強い思いだけは失わないよう心掛けてきました。

35回幹事業務は、新旧幹事の顔合わせを機会に昨秋スタートしました。当時はコロナ第7波が収束気味となる一方、第8波への移行懸念も払拭出来ず、先行きの予測が立たない状況にありました。また、蔓延防止目的で会場の収容人数に制限が掛けられていた点も、無視出来ないものでした。結果としては、感染症分類変更から潮目が大きく変わり、無事当日を迎える事が出来た訳ですが、手探りの期間が長かった事もあり、辛い毎日でした。

幹事業務の1つに、返信ハガキによる出欠確認があります。大先輩の方々を対象に返信ハガキを同封し、総会のご案内をしているものです。体調不良により不参加をお伝えいただく方、逆に参加こそ出来ないものに至って元気だと近況をお伝えい



海老せんべい製造卸・小売・各国産乾海苔問屋

株式会社
ヤマ伍三矢商店

代表取締役 三矢 誠 (大25回)

〒444-0426
愛知県西尾市一色町治明大戸前10
TEL (0563)72-8117
FAX (0563)72-3322
E-mail yamago@katch.ne.jp
https://www.yamago328.com/

公認会計士 山内佳紀事務所

公認会計士・税理士 山内佳紀 (大23回営)

〒466-0807 名古屋市昭和区山花町94-4
TEL 052-761-1386 FAX 052-761-1869
E-mail:info@cpa-yamauchi.com

ただく方等、日々到着するハガキを見ながら脈々と続く陵水会の歴史をあらためて実感する事が出来ました。

冒頭、コロナ禍に振り回されたとお伝えしました。コロナ禍以降、総会運営も変化を余儀なくされ、先輩方とお会いする貴重な機会が減少しつつある事に危機感を覚えます。諸先輩方、どうぞご自愛いただき、是非来年も総会にお越し下さい。また、現役世代の皆様もご参加され、陵水会の根底に流れるものを是非体感される事、お勧めします。

【 岡山義一 (大35) 】

第23回陵水金鯨懇話会

II データサイエンスって何? II

2023年9月9日(土)に陵水金鯨懇話会を開催いたしました。名古屋駅西口の貸し会議室を会場にして、参加者は20名、会費は5000円でした。

講師は、今年3月にデータサイエンス研究科(以下「大学院」)を卒業されました、岡田薫氏に務めていただきました。岡田氏は、名古屋市天白区出身。名古屋大学修士課程(物理学)を修了して、現在テレビ愛知に在籍

しつつ、ミラカン合同会社の代表を務めておられます。

滋賀大学では、2017年にデータサイエンス(以下「DS」)学部が発足しています。しかし、卒業生としてDSをほとんど理解できていないことから、講演タイトルを「データサイエンスって何?」として、DSに関する基礎的なプレゼンテーションをしていただくこととしました。

プレゼンは、岡田氏が「大学院」へ派遣された経緯の話から始まりました。どの企業でもAIやビッグデータの活用以前に、ITに関する専門知識を持った人材が不足していることが課題だということを認識しました。そうしたこともあり「大学院」では、同期40名のうち社会人院生が10名強を占めていた

ということでした。

カリキュラムは、一般の大学院とは異なり、1年目は講義主体となっており、2年目は、事例研究と各自の研究の組み合わせで知識を深めつつ、修士論文制作に取り組んでいたということでした。竹村学長は、スタンフォード大学への留学経験があり、休日返上で研究することに何ら違和感を持っていないと、かなりハードなスケジュールだったようでした。

岡田氏は自身の経験より、「大学院」には社会人経験のある人に効果的との見解でした。データサイエンティストに必要なスキルを3つに大別すると、「プログラミングスキル」「統計学と機械学習」「ドメイン知識(経験に基づいた業界に関する知識、知見)」とのことでした。ただ単に、コンピュータを使いこなすスキルだけでなく、『実務をこなすことのできるスキル』と『人間力』が必要ということでした。

個人的には講義を通じて、いわゆる「法律学」「数学」「経済学」などのように、「データサイエンス学」という学問は無いということが理解できました。

実務、実践的な研究ということではないでしょうか。滋賀大学がこうした先進的な研究に取り組んでいることに誇りを持ちたいと思います。

また講義の後、懇親会を開催しました。コロナ問題発生以降、金鯨懇話会では初めての正式な懇親会でした。今後は、講座とともに懇親会も充実させていきたいと考えております。次回以降、多数ご参加いただきますようお願いいたします。

【 総会部会・堀 洋一 (大31) 】

第24回陵水金鯨懇話会

2023年12月16日(土)、第24回陵水金鯨懇話会を開催いたしました。講師は、昨年の陵水会名古屋支部「支部総会」にて、自著『天武・持統天皇の時代』を紹介された高樋進午氏(大23)に務めていただきました。

テーマは「古代史への誘い」。純粋な歴史に関するテーマを取り上げたのは、陵水会名古屋支部の懇話会では(たぶん)初めてとなります。講演では「釈尊」が生きた時代背景や風土から、「釈尊」がどのように悟りを開いていったかについての考察が

エレクトロニクスの
ミズショー株式会社
MIZUSHO



本社：〒466-0058
名古屋市中区白金1丁目4番20号
TEL: (052)872-6455

拠 点：愛知県刈谷市(事業所)
中国浙江省、広東省
タイ国 サムットサコン県

U R L : <http://www.mizusho.co.jp/>

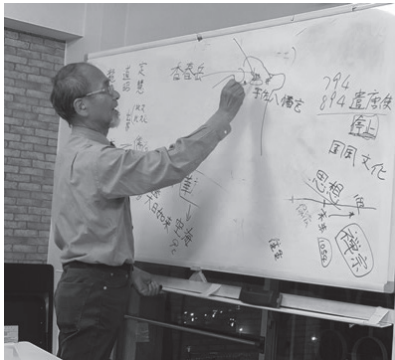
代表取締役社長 橋本 衛(大31回)
総務部 次長 高橋和孝(大44回)

会社経営から相続等までお気軽にご相談ください。

税理士法人 表野会計

代表社員 表野宏和 (大29回)
税 理 士

〒467-0043 名古屋市瑞穂区岳見町1丁目13番地
TEL : 052-832-2049 FAX : 052-834-1797
E-mail : hyonok@luck.ocn.ne.jp



ありました。「釈尊」が行き着いたのは、仏教の根幹となる「唯識」であるとのこと。「釈尊」が悟りに至る過程の話は・・・筆者には難解で説明できかねますので、ここでは割愛します。

「釈尊」を起源とする「仏教」は、「唯識」を学んだ玄奘法師によって、遣隋使、遣唐使を通じて日本に伝来しました。有史以降の日本の歴史を、仏教抜きで説明することは難しいでしょう。また、仏教は日本人の生活様式や常識、慣習、判断基準等々、至る所に影響しています。

その起源となる「釈尊」に触れることのできた時間は、大変貴重な経験となりました。1時間程度のプレゼンテーション後の質疑応答は、思いのほか盛り上がり、レンタルルームの退出時刻が迫ってきてしまい途中で切

り上げざるを得ない程でした。個人的には、「末法思想」をきっかけとして鎌倉幕府が成立したという観点は、大変興味深いものでした。歴史とは単に事実をたどるだけでなく、その背景や現象の本質を推察する、捉える／観点で楽しむことを再認識できた講義でした。

【総会部会・堀 洋一（大31）】

突撃インタビュー

【広報部企画取材】

会報に広告掲載頂いた方々の人物紹介記事を名古屋支部ホームページに掲載させていただき、メルマガにて告知する企画。質問事項

- ① 大学までの生い立ちを教えてください。
- ② 部活時代のことは社会人になって影響したことはありますか？
- ③ 大学卒業後はどのような人生を歩まれてこられたのですか？
- ④ 人生を振り返ってどのような人生でしたか？
- ⑤ これから社会へ出る滋賀大生へのメッセージをお願いします。
- ⑥ 今後はどうされますか？

【第8弾】

城所真男（大33・バレー部、森

（俊）ゼミ）氏
重機商工株式会社・代表取締役として活躍している城所真男さんを紹介する。

① A 1963年、愛知県豊橋市に生まれる。その後名古屋市内引越し、名古屋市立平針小学校に入学。9歳の時にみよし市（当時は、西加茂郡三好町）に引越し、三好中部小学校、三好中学校、岡崎高校を卒業。

子供のころはボイスカウトの活動に参加しており、中学2年にはアメリカにホームステイも経験した。ホームステイの際に、カスケード山脈をバックパックしたことが大きな経験となった。そういった経験が、現在の会社経営においても、外国人と一緒に仕事をするうえでも活かしている。

また、中学、高校ではバレーボール部に所属していた。

② A 中学、高校とバレーボール部だったこともあり、大学でもバレーボール部に入学したが、寮生活も含めて仲間と共にしていたので、お互いの人間性の深い所まで知ることができた。

また、体育会委員も務めていた。体育会主催のコンサートで実行委員長を務めた際には、歌

手の杏里さんと呼ぶことができ、チケットもすぐに売れ、コンサートを成功させることができた。

ゼミは森（俊）ゼミに所属し、経営論を勉強。経営の学術書を読んだうえで、実際に企業へインタビューに行き、経営学の実践状況を調べるといふ活動があった。大学3年生時には旭化成工業（株）（現在の旭化成（株））、4年生時には立石電機（株）（現在のオムロン（株））をインタビューした。

大学時代に仲間と協力して物事を成し遂げた経験は、今の会社経営にも大きく活かしている。

③ A 尊敬する体育会の先輩を頼って豊田通商（株）へ入社。鋼板2部で大手メーカー向けの鋼板の営業担当をしていたが、大企業の会社員は合わないと感じ、3年ほどで退職した。

退職後、父親が社長を務めていた重機商工（株）へ志願して入社した。重機商工は親族が創業したというわけではなく、父親が新聞広告を見て中途入社し、その後社長になった経緯もあるため、父親は息子である自分に跡を継がせようとは考えていなかったようだ。重機商工で

Let's Begin! 独自技術と情熱の融合で世界を舞台に挑戦し続けます



株式会社山一ハガネ
代表取締役 寺西基治（大31回済）

世界最高のフィギュアスケートブレード「YS BLADES」を設計・製造。世界中を魅了する宇野昌磨選手、鍵山優真選手、リクリゅうペアをはじめ、多くの選手の活躍を支えています。金属加工のみならず、新次元の品質を実現する3Dプリンタ「3IXD」を自社開発し業界に革命を起こしたAM事業、名古屋市工業技術グランプリで最高賞受賞のカーボンナノチューブを用いた省エネ新技術「CAST」事業など、新たなフィールドで進化と挑戦を続けています。さらにアジアでの販売網と製造拠点を充実させ、山一ハガネグループのグローバルなネットワークを活かし、世界中のお客様に必要とされる企業を目指します。

〒459-8007 名古屋市長区大根山二丁目146番地 TEL (052) 624-2555 FAX (052) 624-2566

世界最高の純国産スケートブレード
YS BLADES



CAST

CNT ADDED SURFACE TREATMENT

名古屋市工業技術グランプリ
最高賞「名古屋市長賞」受賞の
「CAST（キャスト）」





は経理、人事などを一通り経験したのち、新規事業の立ち上げにチャレンジし、太陽光発電工事業業、空調事業を立ち上げた。とにかく一生懸命働いていたが、30代の時に体調を崩したことがあり、それ以降は健康にも気を遣うようになった。50歳からトライアスロンを始めて、今ではフルマラソンも年間2〜3回走っている。

④ **A** 重機商工の社訓「成長無限、人格陶冶」にある通り、人間死ぬまで自分を磨き、成長していくことをモットーに、自分らしく生きてきたと思う。

⑤ **A** まずは健康第一、体を動かすことで健康を保つことを大切にして欲しい。／短期的な損得だけで動くのではなく、長期的な目線で物事を考えるようにして欲しい。／人生のために、成長のために、目標を持って自分のペースでチャレンジして欲しい。

い。／目標と情熱を持って働く中小企業の社長は、輝いて見える。中小企業の方が業務の裁量も広く、輝ける人もいると思うので、地元の中企業にもぜひ目を向けてみて欲しい。

⑥ **A** 70歳を過ぎたら仕事半分で活動していきたい。80歳過ぎまでは、トライアスロンをやりたいと考えている。

今、社内では20代がDX推進プロジェクトに取り組んでおり、若手社員が活躍している。若いエネルギーがうまく機能する会社となるようにフォローしていくのが、先輩の役割だと考えている。一人ひとりが生き活きと働ける、月曜日に生き活きと働きに行ける会社を実現していきたい。

【インタビューを終えて】

今回のインタビューは、重機商工(株)内の会議室で実施させていただきました。先輩の学生時代のお話も伺うことができ、滋賀大学の歴史を改めて感じるとともに、経営者としての考え方も知ることができました。重機商工(株)社訓の「成長無限、人格陶冶」のように私も、自分を磨き成長し続けてい

きたいと思えます。

【第9弾】 久岡賢治(大66)

鈴木俊彦(大33・弓道部、伊藤「旧姓及川」宣生(ゼミ)氏

ご自身の地元で喫茶ベルのオーナーマスターとして活躍されている鈴木俊彦さんをご紹介します。

① **A** 1961年、この喫茶店のあるところ(秋葉)に生まれる。一人っ子で育った。大学4年間を除けば、ずっとここで暮らしている。1968年より、父親が喫茶店を開業。開業時は、店舗と自宅が別々であった。道路拡張を機に、1985年に3階建ての店舗兼住居を建てた。

南陽小学校、南陽中学校へ通い、瑞陵高校へ行った。高校時代には、創部3年目の部員数30名程の弓道部に入部した。まだ

その頃は創部3年目ということもあり弓道部自体は強くなかったが、自身の自慢として高校2年の時、名古屋市の市民スポーツ祭で優勝した。その後1年の浪人生活を経て、1981年に滋賀大学経済学部経営学科へ入学した。

入学後は高校時代の流れを汲み、弓道部へ入部した。その当

時は50〜60名程の部員数が在籍、弓道部では3年生が幹部を担い、自身は主将を務めた。

② **A** 弓道という競技自体は個人技であるが、団体戦は個人プレーであり、チームを束ねる力がついたと思う。また主将として多くの部員を率いていただけに、決断力がついたと思う。それは社会人となっても活かしている。また主将という立場上、多くの人の意見を聞く機会があり、そういう姿勢も知らず知らずのうちに身についたと思う。

③ **A** 1985年に滋賀大学を卒業し、大垣共立銀行へ就職した。20年ほど勤めたが、会社の求める方向と自分のやりたいことのギャップが生まれ、それがどうにも埋められなくなり、2006年に退職した。

本当は実家の喫茶店を継ぐのではなく、他の仕事を見つけたかった。2001年から父親は喫茶店家業を引退し、その後の喫茶店は妻が取り仕切っていた。父親が妻へ経営のバトンを渡す際には半年ほど休業し、従業員も入れ替えてリニューアルした。会社を辞めた後もなかなか仕事が見つからず、その合間、合間で店を手伝っていたことも

は50〜60名程の部員数が在籍、弓道部では3年生が幹部を担い、自身は主将を務めた。

「ZEB」本社完成

URL: <http://www.jskk.com>
重機商工株式会社
 JUKI SHOKO Co.,Ltd.

代表取締役社長
 Masao
城所 真男 (33回卒)

- 創業64年
- コマツ建機販売修理
- リースレンタル
- 国内各メーカーソーラー発電施工実績1500件以上

重機商工株式会社
 重機リース株式会社

外装タイル、外装モザイクタイル製造

東濃窯業株式会社

代表取締役 **安藤 久**(大学31回)

【本社】 岐阜県土岐市下石町304番地
 TEL 0572-57-8111 FAX 0572-57-8115

【山神工場】 岐阜県土岐市下石町2308-1
 TEL 0572-57-4500 FAX 0572-57-5033

【石給出荷センター】 岐阜県土岐市下石町304番地
 TEL 0572-57-8281 FAX 0572-57-2889

<http://www.to-no.co.jp/>



あり、2006年にそのまま店へ転職することになった。その頃から陵水会活動にも参加するようになった。

銀行は（大垣共立の会社方針がそうだったように）サービス業、という認識をもっていった。よって、喫茶店へ仕事が移ってもサービス業からサービス業へ移っただけで、仕事の本質は変わらないという認識であった。どちらの仕事も、お客さんにとって満足してもらおうかという点では同じと思う。喫茶店の業務内容自体は、父親のやり方を小さい頃から見てきたので大体わかっていた。わからないところは、自分なりに勉強して深堀をしてみた。妻との分業としては、妻が表に立つ営業、自分はお金の面（経営面）を担うこと

になった。ここへ来て銀行時代になった。ここへ来て銀行時代に培った経営を見る目が、喫茶店経営に役立った。大きな転職機としては2011年に、妻と離婚した。今は一人。子供（男2人）はすでに独立している。それ以降は、一人で喫茶店を切り盛りしている。現在の従業員3名のうちの一人は、妻と一緒に喫茶店をやっていた人で、その人には大変助けられている。銀行を辞めて初めて、銀行の良さがわかった。また離婚して初めて、妻の有難味がわかった。

④A 紆余曲折の人生であったが、場面、場面で多くの人に差支えらえてきたと感じるようになった。自分としては、しっかりと還元していきたい。喫茶店経営を始めて、銀行時代の営業する立場から営業される側になり、営業する人の気持ちが変わるようになった。店に来る営業マンには、しっかりとアドバイスするようにになった。

⑤A 現在は大学のカリキュラムに学外との接点が含まれており、今の学生は恵まれていていると思う。いろいろ経験をしてほしい。多くの人と接することが重要。それが後の自分の行動に生きる。自分の人生を振り返ると、

そう思う。銀行時代20年かけてもらった名刺の数より、喫茶店を始めて5年間で入手した名刺数の方が多い。これはいろんな人と会っている証拠で、それが自分の人生に生きている。行くか行くまいか迷うなら、行ってみることが重要。行っても、決して損はない。行けば必ず、得られるものがあるはず。

⑥A 70歳までは、この店をやっていききたい。それ以降のことは、それまでには用途を建てたい。喫茶店業には拘っていない。この喫茶店を使いたい人がいれば店の譲渡も考える。自分としても他の事業も考えたい。今後もしよきにやっていきたい。

「インタビューを終えて」

2011年東北の大震災の年に、鈴木さん自身にも家庭内震災が起こり、それ以降一人で活躍されてきている。ただその鈴木さんを襲った個人的震災も、周りの人に助けられながら、店の繁栄を維持してきている。その背景には、子供の頃から見てきた父親の背中と銀行時代に培った経営ノウハウも、大きく寄与していると思う。今は一人生活ということだが、それを苦とは考えずエンジョイされてお

り、これからも「とにかくまずは行ってみよう」の精神を貫きながら、人生一人旅を続けていけるものと思う。

【第10弾】 図岸 泰志（大30）

【第10弾】

中川雄志（大50・フットサルサークル、永田ゼミ）氏

現在、ご両親とともに不動産業を営む中で活躍されている中川雄志さんをご紹介します。

①A 1979年生、西尾市内で生まれる。3人兄弟の長男として育った。小学校、中学校は地元小学校へ通い、高校は安城高校へ行ってハンドボール部に所属した。1997年に、現役で滋賀大学に合格した。もともとは法学部へ行きたかったが希望校に入らず、法律関係が学べるということで社会システム学科へ入学した。

クラブは、フットサルサークルに加入した。大学非公認のサークルであったが10名程が在籍していた。アルバイトは派遣会社に所属、彦根市内のいろいろなホテルで配膳係をやった。

②A 大学時代から趣味は洋楽を聞くことで、お陰で英語力が身についた。またスロットルにもはまり、ギャンブルの恐ろしさ



喫茶 ベル

鈴木俊彦（大33回）

名古屋港区秋葉1-120
（国道302号南陽農協前交差点角）
TEL 052-301-5437

山田康博税理士事務所

〒452-0942 愛知県清須市清洲田中町29番地
TEL 052-409-0836 FAX 052-409-1904
E-mail: usm94923@biglobe.ne.jp

税理士 山田康博（大学31回）



を知った。ホテルでバイトをやっていたため、著名人やいろんな人と会うことができ、とても勉強になった。結果としては、ホテルは接客業であり、常に人と接しているため人と話すことに関しては抵抗がなくなった。また、相手を見て相手の要望がわかるようになったと思う。これら経験が、社会人となっても活かしていると思う。

③ A 2002年に大学を卒業し、その後は家業を意識して住友不動産販売(株)へ就職した。該社の大阪の営業センターにて、12年間勤務した。そこでは、マンション、土地、家屋、ビル

現在の、父親が社長、自身は営業部長で活動している。刈谷地区は土地代が急騰してきており、土地代が手頃な西尾地区に目が向きつつある。現在は土地、家屋に関するコンサルタント業もやっていて、お客さんの資金繰りに関するアドバイスも行っている。自社の販売、利益には拘っていない。自分の信条としては、その人のメリットになるかどうかをいつも心がけている。

④ A 今までがとても速かったように感じる。大学時代の仲間とのつながりは、今でも活かしている。また、大学時代のアルバイト経験、接客業の経験が今の不動産業の中でも活かしている。

⑤ A 自分のタイプを決めつけず、いろんなことにチャレンジして欲しい。それが自分に合わなくても、そこでつながった人と新たな人脈ができ、そこから新たな世界が見えてくる。就職活動についても、決めつけずいろんな職種を見て欲しい。すでに社会で働いているOB・OGから、リアルな話を聞くことが自身の就職にも役立つと思う。入学した以上は、しっかりやるべき勉強はやって欲しい。やらねばならないことは、先にやっ

て欲しい。それをやると、心ゆとりができる。

⑥ A 今の趣味は昔と変わらず、音楽を聴くこと、食べ歩きも好き。料理を時折、自分で作ることもある。これからの世の中は、自分も周りも共に幸せになれるような状況を望む。また、自分の勤める会社は、大手の同業他社ではできない、お客さんに寄り添った営業スタンスを取っている。「お客さんの状況が、自分への相談後により良くなるようなサービスを提供できる」そういう会社を、引き続き目指したい。

【インタビューを終えて】

大学時代や住友不動産販売時代に培った、人との接し方、相手の見方を武器に、常に相手のことを最優先にする、お客さんへ寄り添った営業スタンスで、父親から引き継ぐであろう不動産会社を社長として、更に大きく発展されるものと思う。

それから、ご本人はまだ独身とのこと。世の中の幸福を願っているだけに、今後はきつと良い出会い、縁が舞い込むと思われる。人生の良きパートナーと巡り合い、更に会社を發展させることを願っている。

陵水会会員の方々と、不動産に関わる要望、お悩みがある方は、気軽にクリエイト鳩へコンタクトすることを推薦したい。

【第11弾】
山田康博(大31・ラグビー部、大矢知ゼミ)氏

現在、奥様とともに税理士事務所を営む中で活躍されている山田康博さんをご紹介します。

① A 1960年、愛知県西春日井郡清洲町(現在の清須市)に生まれた。清洲小学校、清洲中学校を卒業し、将来は父親の税理士事務所*を継ぐことを前提に、名古屋北高校に進学した。大学進学では、会計学科のある大学のうち、一番近い滋賀大学を希望し受験した。願書を取りに彦根を訪ねた時に、その雰囲気が入ったことも滋賀大入学の動機になった。ラグビーとの出会いは、中学時代は野球部だったが高校に野球部がなく、ラグビー部に入ったことがきっかけだった。大学4回生の時には、主将を勤めた。(*)父は税務署勤務を5歳前に退職、税理士として独立していた。

② A 大学卒業後は、愛知大学の大学院に入学。比較的時間の余

加古渉税理士事務所
加古労務士事務所

税理士 **加古 渉** (大学56回)

〒470-1123愛知県豊明市西川町笹原19番地17
TEL 0562-57-5350 FAX 0562-57-5301
✉ wk-taxac@aioros.ocn.ne.jp

裕があったので、週に3回は彦根に行き、ラグビー部のコーチといながら、生涯現役を目指して現役の学生と同じ練習メニューをこなしていた。大学院卒業後も彦根参りは続き、毎週1回と土曜日の練習と日曜日の遠征をずっと続けられたのは、地元・清須市のクラブチームの試合の助っ人に誘われる機会にも、しっかりプレーできる自分でありたいという思いが強かったからかもしれない。

妻とは、私の姉が経営する飲食店で知り合い、当時滋賀大ラグビー部の監督だった三神先生



の仲人で結婚した。仲人をお願いに行った時、三神先生は妻に『これ以降も、旦那がラグビーに専念することに文句を言わないと約束できるなら、仲人を引き受ける』と言われた。その時の誓いが、自分のラグビー中心の人生を決定づけるものになった。平成8年(1996年)36歳の時、三神先生から引き継いだ「滋賀大ラグビー部監督」は60歳まで続け、次の入江直樹(大32)氏(現滋賀大教員、学生時代の自分の次の主将)へ繋げることができた。

大学院卒業後は父の事務所に入所し、平成元年(1989年)29歳の時に税理士登録。平成17年(2005年)45歳の時に父が亡くなると、事務所を妻と二人で背負うことになった。それからは自分で何とかしなくてはという自立心が出て、看板を

作ったり、広告を出したり、ホームページを作ったりしてきた。

③ 滋賀大ラグビー部の学生は経験者が半分、残りの半分は初心者が入部してくる。激しいぶつかり合いでも怪我をしない基本の身体づくりから始めて、試合に出られるようになるまで育てなければならぬ。彼らをどう育てていくか、その練習メニューを作り実践していく。それを毎年毎年繰り返し返してチーム作りをした経験が、現在の仕事にも生きている。

例えば、起業する人への支援だ。計画的にしっかりとプランをもって起業する人は、ほとんどない。所属している組織が嫌であったり、組織から排除されたりした人が起業するケースが多いので、そういった人は経営のことは何もわからない素人。その人の話を聞き、これから経営していくためのレクチャーを丁寧に行うことで、その会社を支援していくというイメージ。

一般の会計事務所が嫌う、起業したての危ない面倒な顧問先を敢えて支援してこられたのは、ラグビーを始めた素人がゲームに参加できるように育て上げてきた、滋賀大ラグビー部

のコーチ・監督の経験が生きかかっていると思う。

④ 一言で言えば、生涯現役。ずっと、ラグビーをしていたい。そのための身体づくりを継続していく。仕事も定年がないので、いつまでも働く。これまでも、そしてこれからもずっと、税理士業とラグビーに一筋な人生を歩んでいこうと思う。

⑤ 最近入部してくるラグビー経験者からは、新しい価値観やトレーニング方法など学ぶところが多い。しかし、ラグビーには本質的に変わらないものがある。新しい人たちは外見上のことをよく知っているかもしれないけれど、本質のところを見失っていることが多い。その本質をしっかりと見据え、大切に育むことを忘れないで欲しい。

そして、変化が激しくスピードの速い世の中ではあるが、自分の立ち位置をしっかりと正しく把握して欲しい。「自分は何者なのか」「何ができて何ができないのか」「どうやって生きていきたいのか」、まず自分自身がいかに考えて抜き、人からの忠告やアドバイスにもきちんと耳を貸し、自己満足や自分本位にならないことが大切である。

そうすることで初めて新しいスタートが切れるのではないかと。また、対面での議論が大切である。SNSや機器だけを使ってコミュニケーションしていても、本質は伝わらないことを認識することが大切だ。

『初めて大学を見たときに、いいところだと感じた』というところから共感が湧き、話し方もとても穏やかで飾るところがなく、誠実で暖かい方だと思いました。我々が話しているすぐ横では、奥様とご長男が仕事をされていて時々、山田さんの話に頷いたり微笑んだり、時には詳細の説明を加えてくださったり、ご家族がラグビーを中心に深く信頼し合っておられるのだなと感じました。

他で働いた経験もなく、税理士というニッチな社会で、しかも滋賀大のラグビー部にずっと関わってきた人生に悔いはないと言われます。世界に羽ばたく商社マンを目指し、多くの人の関りや新しいこととの出会いを外に外にと求めてきた自分とは正反対の人生観に、本当の誠実さや人としての温かさを実感させられました。『深く考え抜

き、すべてを把握して決断したい』と言われた山田さんの言葉に、堅実で常に本質に迫ろうとする強い意思を感じました。

■ 城所真男(大33)

■ 陸水卓友会「名古屋か会」

30年思い出記念写真集を作成 陸水卓友会「名古屋か会」30年思い出記念写真集を作成

本会は、滋賀大学卓球部OB有志(現在18名)の親睦会で、年1回1泊2日で中部とその近辺を訪ねるものです。平成6年(1994年)以来今年で30年続いています。これまでの主な訪問先は、大井川鉄道・寸又峡、伊勢神宮、近江八幡水郷、奈良平城京・大極殿、湯の山温泉、台湾等です。

メンバーは70代から80代後半のステージに立っています。卓友は、卓球で結ばれた絆が人生の支えです。気力、体力の続く限り、会とともに歩み続けられるよう願っています。

■ 清水吉男(大9)

■ ソフトテニス部卒業後40周年同期会

昭和58年卒業(大31)のソフ

トテニス(軟式テニス)部同期会を開催しました。

昭和54年に入学した軟式テニス部の同期生が集まった、卒業後40周年の同期会です。令和5年4月23日(日)、彦根キャッスルリゾート&スパへの集合は夕方としていましたが、中には久々に彦根を訪れるということ、午前中から市内を散策するメンバーもいました。

私たちが過ごした学生時代の彦根は「学生の街」だったのが、「今ではすっかり観光地化している」と驚いた様子でした。また一方で、当時は人通りでにぎわっていた銀座通りがすっかり寂れてしまったことに時間を感じた様子でした。体育会系クラブに所属していたこともあり、また生活するのに精一杯だったこともあり、活動エリアが限られていたことに気づき、「もつと彦根という町を知っていればよかった」という感想を何人かが漏らしていました。

同期11名のうち9名が集合。定年後も引き続き勤務している人、リタイア生活を楽しんでいる人、会社経営に携わっている人、新天地で活躍している人など、それぞれの道を歩んでいま

す。皆年相応の風貌ながらも、「変わったなあ」と言われる人はいませんでした(例えると、浜辺美波が60歳の役を演じているような感じ)。食事会ではそれぞれの近況報告を発表していたところ、あつという間に時間が過ぎてしまい、時間切れで会場から追い出される始末でした。

20年以上全員そろって再会する機会はありませんでしたが、同期会開催に先んじてグループLINEを立ち上げるとたちまち11名全員が参加登録を済ませしており、私たちは見た目以上にチームワークが良いのだと実感した次第です。まだまだ話は尽きることなく、今回参加できなかった2名を加えての再会を約束して翌日散会しました。

【福隆会】 洋一(大31)

「福隆会」2024 開催報告

2024年2月3日(土)、東海地区大29回同期会「福隆会」を開催しました。

「福隆会」は30年以上にわたり、名古屋近郊の同期が集って毎年開催し、親睦を深めるとともに各々の近況報告・情報交換

を行ってまいりました。これまでは例年8〜10名ほどの参加者で開催する会でしたが、今回は皆65歳を越え仕事にも一区切りがついた方も多く、17名参加の盛大な会となりました。*福隆会の「福」は、大29回の二九(ふく)です。

各参加者からの近況報告については、当初は各々の勤務先での業務や業界情報等の仕事関連の話題が主で、他業種への知見を広げたりビジネスの輪を作ったりと大変勉強させていたただくことも多くありました。近々では例に漏れず自身の健康や孫のこと第二・第三の人生のことなどの話題が中心で、共に人生のステージが変わったことを感じさせられています。今回も皆さんのアットホームな近況を聞き、何気ない会話ができることが非常に楽しく、大変貴重な時間となりました。

【福隆会】 開催を長く継続し、気づきや楽しみを広げていきたいと思います。

【福隆会】 開催を長く継続し、気づきや楽しみを広げていきたいと思います。

建設不動産の会

II 勉強会開催報告II

2023年11月20日(月)、名古屋プライムセントラルタワー13Fの第6会議室にて、不動産の会としては4年ぶりとなるセミナースタイルで勉強会を開催しました。5年ぶりに川津昌作氏(大29)よりご講義頂き、テーマは「不動産ビジネスとビジネスモデル」。出席者数は13名(講師を含む)でした。

今をもって甦る「サブプライムローン住宅ビジネスモデル」。日本ではサブプライム住宅ローンビジネスは、ブルーカラーで弱い移民の低所得者を食い物にした悪徳不動産業者のポイズンビジネスと言われ続けています。しかし実際は、住宅投資市場の有効なビジネスモデルとして存在が認められたものです。

ビジネスモデルがどの様に市場で有効になるのか? 何故日本でビジネスモデルが育たないのか、皆さんと議論致しましょう。という内容。

以下、筆者の感想です。サブプライムローンは、貧しい方ではなく、多額の借入を通じて不動産に投資する方々(よって低与信となる)へのローンで、さらにそのローンを対象とした

金融商品、更には金融商品に対する保証証券に有名な大手金融機関までもが投資を行い、その投資が膨らみ続けた結果、破綻したという事でした。格付け機関が恣意的に高格付けを行って、バブルを支えていたという事も衝撃でした。

また、日本の不動産には統計が通用せず、基準価格が根付いていない(誰かの思惑が混ざってしまう)という話も業界に思い当たる節があります。最後に、ニューヨークの最高額マンションは100階建ての最上階で600億円という話題もあり、彼我の差に驚かされました。(日本では最近、大阪の梅北地区で25億円の物件が話題になりました)

今回は、荒木副支部長始め4名の方に初参加頂き、アフターコロナを経ていつもと少し違う顔ぶれで知的な空気の会になったと思います。会として次回は、新年会を予定しています。皆様のご出席をお待ちしています。

【福隆会】 開催を長く継続し、気づきや楽しみを広げていきたいと思います。

【福隆会】 開催を長く継続し、気づきや楽しみを広げていきたいと思います。

弓道部創部100周年記念式典

1100周年記念式典を挙行!!



2023年7月15日(土)彦根キャンパス講堂にて、弓道部創部100周年記念式典を挙行了しました。弓道部は彦根高等学校が設立された1923年に創部され、戦後にはGHQの統制下で活動が禁止されていた時期もありましたが、2023年に創部100周年の節目を迎えました。

式典には、弓道部のOB・OGと現役員合わせて約120名が参加。椎名洋データサイエンス学部長からの祝辞に続き、弓道部顧問の道上静香教授、師範の川瀬敏裕先生からご挨拶がありました。その後、これまで弓道部に功績があった方を讃えて、功労者表彰を実施。

続く記念講演では、弓道部OBで小樽商科大学副学長である江頭進教授より、「弓道は人生に役に立つか」と題してご講演いただきました。最後に、本式典の実行委員長で陵射会(弓道部OB会)会長による弓道部100年の歴史の振り返りが行われ、盛況な式典となりました。

翌7月16日(日)には、馬場町にある当学弓道場にて、OB射会を開催。今回は、総勢62名のOB・OGが参加し、大いに旧交を温めることができました。参加者にはOB会誌「弦音」第50号と、マフラータイプのスポーツタオル、弦音バックナンバー(1〜49号)を収載したブルーレイディスク、特別ラベルのワイン(有償)を、100周年記念品として提供しました。

関中桐克英(大32、陵射会会長)

硬式庭球部創部100周年記念大会

1100年記念大会を開催!! 硬式庭球部創部100周年記念大会を2023年10月22日に開催。会場は彦根キャンパス。OBOG会の陵水テニスクラブと学生が3年の準備を費やして実現、日本テニス協会前専務



理事で、東京2020五輪の日本選手団長を務めた福井烈氏を招き、大会に花を添えた。

当日は、福井氏による現役員へのレッスンが行われた。全日本選手権7回制覇のレジエンドによる直接指導を見学したOBOGも、66歳とは思えない動きや、練習の意味をわかりやすく説明する様子に「感動した」との声が多く聞かれた。

続いて講堂で「スポーツから学んだこと」と題した講演と、テニス部監督の道上静香教授や道慶知子、井上明里プロも加わったトークセッションが行われ、福井氏自身の体験を交え「へこたれない心」が大切だと力強いメッセージが贈られた。

大会の最後には、場所を移して懇親会を実施。関西テニス協会の馬場宏之会長、東海テニス協会の小川敏理事長に加え、滋

賀大学の産学連携のスポーツプロジェクト「SGUテニスアカデミー」で協力関係にある橋本総業ホールディングスの橋本政昭社長にも出席いただいた。現役学生から92歳の大先輩まで100名以上の各テーブルを福井氏は一つ一つ回り、爽やかな笑顔で写真撮影に応じ、丸一日に及んだ大会は大盛況であった。

関小西 智(大37・テニス部37期)

彦根高商創音周年記念式典での演奏を終えて

110周年記念式典に出演!! 陵水男声合唱団は、2023年の年初より百周年記念式典への出演意思を固め準備を始めました。普段は東名阪に分散し少数で活動する当団ですが、百周年行事に合わせた団員募集が功を奏し、春先には総勢40名規模の合唱団としての出演が可能となりました。

式典冒頭の「滋賀大学学歌」演奏では、滋賀大学OBとしての自負心と感謝の意を込め演奏するよう、我々合唱団員一同申し合わせました。3地区の合同練習ができない中での本番でしたが、一番・二番の斉唱は、団員全員の音色を統一し、近江の

自然と学問の府としての滋賀大学の存在感を再確認してもらえよう注力しました。三番は、先が不透明な未来に対しても粘り強く歩み続ける滋賀大学の将来にエールを贈る想いで、キーを4度上げた四部合唱で堂々と歌いあげました。ご来場された約400名の皆様には、音響抜群の講堂で演奏を披露できたことに心から感謝し、終了することができました。

一方、式典最後に演奏した「彦根高商校歌」と「琵琶湖周航の歌」は、学生オーケストラと合唱団と一週間後に定期演奏会を控えた学生オーケストラが、事前練習する機会を設けることは不可能でした。更に、双方の団体が持つ「琵琶湖周航の歌」の楽譜は編曲者が異なり、そのままでは演奏できず大きな難題となりました。結局、両団指揮者による彦根での2回の打合せとメールでの数回にわたるやり取りの結果、「琵琶湖周航の歌」は今後の滋賀大学を担う現役学生を前面に出し、合唱団は観客席側に回り観客とともに斉唱することとなりました。結果的には、



この決断が記念式典最後を大いに盛り上げる成果に繋がり、盛大な拍手を頂く中で演奏を終了することができました。

豊かな自然に包まれた彦根での生活が、滋賀大卒業生の「原点」にあることは申すまでもありません。同時に、百周年記念行事を終えた今、私は、天秤棒を肩に乗せて生活環境の全く異なる全国各地へ足を運び『三方よし』の事業を展開した近江商人の行動力や、激動する環境下で海外へ積極果敢に乗り出して難局を切り拓こうとした井伊直弼の決断力が、我々滋賀大卒業生の「原点」にあることを再認識いたしました。滋賀大学に在籍した歳月に感謝するとともに、今後生活していく上での大きな指針を新たに得た思いです。

【 岡 杉谷哲夫（大21、陵水男声合唱団・指揮者）

陵水会名古屋支部 支部役員

2024年4月1日現在

役職名	氏名	卒業年次
支部長	片岡嘉幸	大25回
副支部長	荒木俊雄	大29回
幹事長	塚本浩三	大30回
副幹事長	榎本尚哉	大25回
副幹事長	落合睦司	大30回
副幹事長	岸泰志	大30回
副幹事長	内田誠	大31回
副幹事長	堀洋一	大31回
副幹事長	横井隆幸	大33回
副幹事長	中川雄志	大50回
副幹事長	挽内健児	大50回
副幹事長	土屋貴巨	大54回・院46回
副幹事長	肥田茂之	大54回
副幹事長	土屋敦史	大57回
副幹事長	今井綾乃	大58回・経院50回
副幹事長	久岡賢治	大66回
会計幹事	表野宏和	大29回・院9回
監事	米澤正治	大25回・院5回
顧問	吉田宜正	大8回

陵水会名古屋支部 本部役員

2024年4月1日現在

役職名	氏名	卒業年次
副理事長	片岡嘉幸	大25回
理事	荒木俊雄	大29回
理事	表野宏和	大29回・院9回
理事	塚本浩三	大30回
代議員	山内薫	大21回
代議員	山内佳紀	大23回
代議員	榎本尚哉	大25回
代議員	米澤正治	大25回・院5回
代議員	落合睦司	大30回
代議員	岸泰志	大30回
代議員	内田誠	大31回
代議員	堀洋一	大31回
代議員	城所真男	大33回
代議員	三村祥章	大35回
代議員	土屋貴巨	大54回・院46回

陵水会名古屋支部 各回別幹事

2024年4月1日現在

卒業年次	氏名
高商21	杉浦弘
大学2	鹿野磯夫
4	近藤勇雄
5	清水有
6	伊與正道
7	坂清司
8	脇田佳男
10	大野眞一
短大7	長谷川信三
大学11	内藤嘉美
12	水野浩
13	倉坪和久
15	吉田稔
16	蜂須賀聡太
17	築瀬悠紀夫
18	山下松志
19	山口郁夫
20	板谷憲治
20	鹿住誠
21	山内薫
23	小田切純子

卒業年次	氏名
大学23	山内佳紀
24	近藤一菜
25	榎本尚哉
25	片岡嘉幸
25	米澤正治
26	三宅郁夫
27	伊藤博樹
28	牧野博和
29	荒木俊雄
29	表野宏和
30	落合睦司
30	岸泰志
30	塚本浩三
31	内田誠
31	堀洋一
32	河辺昭宏
32	船坂宏樹
32	日時義通
33	鈴木俊彦
33	菱田裕彦
33	横井隆幸

卒業年次	氏名
大学33	城所真男
34	田中直樹
34	千喜良博
34	丹羽宏和
35	三村祥章
35	三輪孝秀
35	山崎博己
36	樋口偉久
36	永井尚徳
37	伊藤智弘
37	日比野厚
38	伊藤裕人
38	小田島永
38	中川央*
39	曾根晴夫*
40	稲垣明知
40	坂野晃
40	脇田英市*
41	山田剛
42	長瀬昌彦
43	小林靖

卒業年次	氏名
大学45	水野俊之
45	佐藤芳郎*
46	齊藤正和
49	中澤良次
50	中川雄志
50	挽内健児
53	稲山大介
54	土屋貴巨
54	肥田茂之
57	土屋敦史
58	今井綾乃
58	田中憲一
62	小野翔
62	棚橋紗夕
64	磯野詩織
64	金井信道
65	田中圭史
65	堀井弘明
66	久岡賢治
66	三品花菜

<参考>新任者*

陵水俳壇

自句自解

石橋政雄(大6)
入院の窓に寒鴉の二つ三つ
足の巻爪の治療を近所の皮膚科でやってもらったが、なかなか治らず最終的に名古屋大学付属病院に入院する破目となった。窓からは鶴舞公園が一望。

伊與正道(大6)
父の日や峡の医師の五十年
三月三日父の忌が近い。福井県足羽郡一乗谷村浄教寺の山里に生れ当時の福井中学校を卒業、金沢医専から二十五年で隣村の河和田村で開業、息子雄二に譲る迄五十年の校医を続け、俳句に親み村の衆を集めて「北吟会」を主催し、当時の「馬酔木」に投句二句を目指したが年に三度二句蘭に顔を出す程度だったらしい。村に一軒の医者だから真冬の雪の中、急患往診の事もあり朝から患者溜りに人が一杯だったのが記憶にある。書を良くし騒々しい七人の兄弟の末子の私に「和顔愛語」の軸が今も床の間に飾られている。

倉坪和久(大13)
菊日和母校創立百周年
100周年を記念して『百年史』を編むことになり、原さんを中心に10年前から取り組んできた。わがライフワークの一つになった良縁機縁に感謝。

青山政弘(大17)
熊避けの小鈴賑やかハンドベル
花は葉に人生半ば歩みをり
片岡嘉幸(大25)
昨年の十一月に三重の熊野古道にハイキングしました。観光バス十三台が各地から参加し、約二百名が九十九折の古道をハイキングしました。熊の出没が問題となっており、参加者特に女性の腰やリュックに「熊避けの小鈴」が付けられており、まるでハンドベルのように鳴り響いていました。

熊避けの小鈴賑やかハンドベル
花は葉に人生半ば歩みをり
片岡嘉幸(大25)
会社を退職して4年たちました。各所に年齢を感じるものがありますが、さすがに「人生半ば」で、ゴルフ、俳句、山城探訪、野菜作り、孫の子守り、週1から2回のアルバイトと忙しい日々を過ごしています。特にゴルフは昨年9月に81のスコアをマークし、20年ぶりにベストスコアを更新しました。上手くないかないことの多いゴルフですが「人生を歩む」手助けをしてくれています。

第87回名古屋陵水会ゴルフコンペ

【開催日】令和5年4月5日(水) 【会場】東名古屋カントリー倶楽部
1週間前の天気予報では雨予報で、前回に引き続いての中止が危惧されましたが、曇天ながら雨が降らず、気持ちのいい春の気候となりました。本来なら桜満開の時期ですが、全国的に異常に早い開花の年のため、残念ながら花吹雪の桜でした

Table with 5 rows of golf scores: 優勝 野々山徳雄(大25) グロス 95 HD 22.8 ネット 72.2, 2位 清水 一治(大09) グロス 87 HD 13.2 ネット 73.8, 3位 片岡 嘉幸(大25) グロス 99 HD 24.0 ネット 75.0, 4位 塩瀬 和美(大22) グロス 90 HD 14.4 ネット 75.6, 5位 陣内 純(大30) グロス 89 HD 13.2 ネット 75.8

第88回名古屋陵水会ゴルフコンペ

【開催日】令和5年11月23日(木祝) 【会場】額田ゴルフ倶楽部西コース
秋晴のもと、優勝した井上真吾(大58)さんは、15番ロングホールで2オンするなど実力を遺憾なく発揮しました。

Table with 5 rows of golf scores: 優勝 井上 真吾(大58) グロス 76 HD 6.0 ネット 70.0, 2位 野々山徳雄(大25) グロス 89 HD 15.6 ネット 73.4, 3位 稲垣 信也(大23) グロス 85 HD 10.8 ネット 74.2, 4位 堀 洋一(大31) グロス 100 HD 25.2 ネット 74.8, 5位 挽内 健児(大50) グロス 105 HD 30.0 ネット 75.0

第89回名古屋陵水会ゴルフコンペ

【開催日】令和6年4月9日(火) 【会場】東名古屋カントリー倶楽部
結果は名古屋支部ホームページにてご覧ください。

第90回名古屋陵水会ゴルフコンペ

【開催日】未定 【会場】未定
本年より秋開催も平日に開催します。

全ての記事の全文は、陵水会名古屋支部ホームページでご覧いただけます。



〔原稿募集及びご意見を！〕
皆様の原稿をお待ちしています。
※テーマ自由
〔昔の支部会報〕を探しています。
※第1号〜15号をお持ちの方はご一報願います。
〔広告を募集しています〕
※ご希望の方はご一報願います。
連絡先・城所真男(大33)
0901261818438
Email nkidokoro1963@gmail.com
編集担当：広報部会
岸・城所・横井・今井・久岡

予 告
※開催月が例年と異なります、ご注意ください。
2024年度 名古屋支部総会
【日時】2024年7月27日(土)
【会場】HOTEL ルブラ王山
【講演】演題：きわめて私的な私のキャリア～心の赴くままに歩いた結果
講師：アサヒグループホールディングス 執行役員 近安理夫 様(大38)